

第1回 Kavli IPMU アーティスト・イン・レジデンス (AIR) プログラム参加作家展

野村康生 | 平川紀道 | 春山憲太郎



本展覧会では、本プログラムに参加した絵画、メディアアート、彫刻の各分野一名ずつの三名の作家が新作を展示するとともに、多様な専門家による関連イベントを多数行います。アーティストと科学者間で行われた交流を、多くの方と共有する機会となれば幸いです。

に、約一か
月間アーティスト
が滞在し、研究者が研究
しながら作品の制作を行いました(アー
ティスト・イン・レジデンスプログラム)。

Kavli IPMU AIR

科学と美術が会う時、それはいつも思いがけない巡り会
で、時に私達にとって大きな意味をもつものを生みます。例
えば20世紀初頭、パリで科学と美術が邂逅(かいこう)した
ときには、ピカソ、デュシャンを筆頭に多様で活発な文化が
生まれています。21世紀初頭の今、日本にある基礎科学
の研究所であるカブリ数物連携宇宙研究機構(Kavli
IPMU)にて、再び科学と美術の邂逅が試み
られます。

Kavli IPMUは、数学と物理学と
天文学で宇宙の謎を解き明
かそうとする研究所
です。

この研

2018年3月9日(金) - 25日(日) // // // // // カマタ_ソーコ

休室日: 月曜

開室時間: 12:00-18:00(火-木), 11:00-20:00(金-日・祝)

会場: カマタ_ソーコ(東京都大田区萩中3丁目22-7)

料金: 無料

主催: 東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構(Kavli IPMU) 協力: @カマタ 助成: 日本学術振興会(JSPS)

問い合わせ先: 東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構 広報 Tel: 04-7136-5981(本企画担当: 坪井), E-mail: koukai-kouza@ipmu.jp

*本展覧会は日本学術振興会(JSPS)科研費「自然科学と哲学・芸術の融合を触発するアウトリーチ活動の研究」(17H00286)の助成を受けたものです。

再ⁿ邂逅する科学と美術の試み、2018 東京

an attempt on the reⁿ- encounter between Science and Art, 2018 Tokyo

an exhibition featuring artists participated in the Kavli IPMU Artists in Residence (AIR) program



12:00 - 18:00 (Tue - Thu),
11:00 - 20:00 (Fri, Sat, Sun, Public holidays)
closed on Mondays
Entrance Free

関連プログラム

※特に記載のないものは、[会場]カマタ_ソーコ [定員]40名 [料金]無料 [申込]不要 (但し、当日先着順にて整理券配布。定員に達し次第締切)。

※諸般の事情により事前の予告無しに変更となる場合があります。

13火 14:00-14:30

ガイドツアー

[定員]20名

18日 11:00-12:30

Kavli IPMUのサイエンスから1
不思議なマッカイ対応

[出演] 伊藤 由佳理 Kavli IPMU 教授
/名古屋大学准教授(数学)

20火 14:00-14:30

ガイドツアー

[定員]20名

21水祝 14:00-15:30

Kavli IPMUのサイエンスから2
シャボン玉と時空
Soap bubbles and spacetime

[出演] Will Donovan Kavli IPMU 特
任研究員(数学)*英語による講演。通訳
なし。This event will be in English.

9金 19:00-

Opening Party

[定員]なし

10土 14:00-17:00

Kavli IPMU AIR プログラムを考える
シンポジウム

科学論と美術論から考える
基礎×科学×美術

[出演] 沢山遼(美術批評), 池田暁
志, Kavli IPMU 特任研究員(数学), 砂
山朋美 Kavli IPMU 特任研究員(天文学),
野村康生, 平川紀道, 春山憲太
郎, 他

11日 10:00-16:30

Kavli IPMU AIR プログラムを考える
ワークショップ

真×善×美から考える科学
の基底と美術の基底

[出演] 桑原俊介上智大学助教(美学),
丸山善宏 京都大学助教(論理学), 山
崎雅人 Kavli IPMU 准教授(理論物理),
野村康生, 平川紀道, 春山憲太
郎, 他

[会場]多摩六都科学館 [定員]48名 [料金]
無料(別途入館料が必要) [申込]要事前
申込(申込は多摩六都科学館のHPから。
2月26日申込締切。)

24土 14:00-15:30

人工意識から見る
Kavli IPMU AIR プログラム

[出演] 金井良太 (ARAYA Inc., CEO)

25日 14:00-15:30

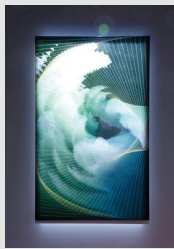
オルタナティブから見る
Kavli IPMU AIR プログラム

[出演] 小川希(Art Center Ongoing 代表)

出展作家 / Artists

野村 康生 / Yasuo NOMURA

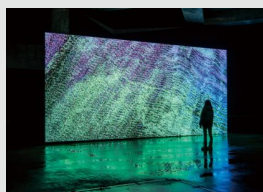
1979年生まれ。2004年武蔵野美術大学造形学部油絵科卒業。「現代科学が想定する高次元理論から絵画を再考する」ことをテーマとしている。2015年、Kavli IPMUのAIRに参加。主な展覧会は「VOCA展2018」(2018/上野の森美術館/東京)、個展「Dimensionism」(2017/hpgrp GALLERY TOKYO/東京)、個展「Here and There」(2016/hpgrp GALLERY NEW YORK/ニューヨーク)など。2016年に理化学研究所脳科学総合研究センターと共同企画を実施。



野村康生, Noctis Labyrinthus No.03, 2017年, credit Yasuo Nomura

平川 紀道 / Norimichi HIRAKAWA

1982年生まれ。もっとも原始的なテクノロジーとして計算に注目し、コンピュータプログラミングによる数理的処理そのものや、その結果を用いたインスタレーションを中心に作品を発表。2016年、Kavli IPMU AIRで作品「datum」シリーズの制作に着手し、豊田市美術館、札幌国際芸術祭プレイベントで発表。2017年、チリの標高約5,000mに位置するアルマ望遠鏡でのレジデンスを経てシリーズ最新作を制作開始。また池田亮司氏、三上晴子氏らの作品制作への参加、ARTSAT (Art and Satellite) プロジェクトのアーティストティックディレクション等も行う。



平川紀道, datum, 2017年, credit Norimichi Hirakawa

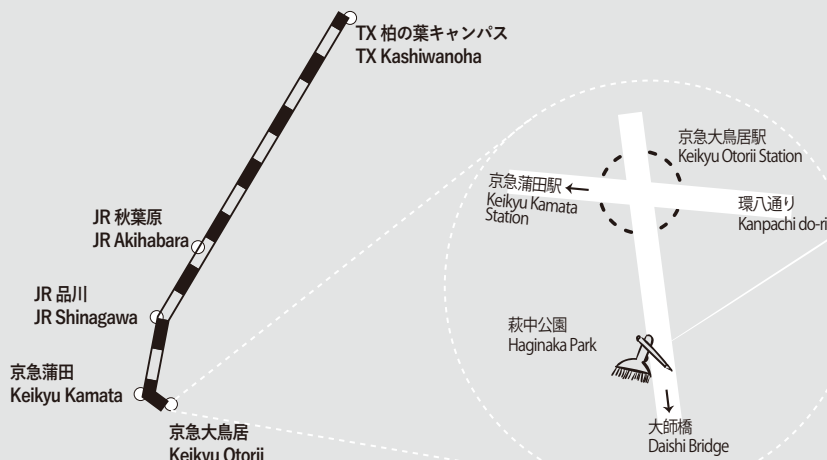
春山 憲太郎 / Kentaro HARUYAMA

1974年生まれ。2005年 The Slade School of Fine Art, University College London MFA 修了。活動は、架空の建築物の一部を制作して実在のスペースに導入する他、仮説としての彫刻のプラン模型の制作などに及ぶ。2018年にKavli IPMU AIRに参加。主な展覧会は、「Design」(2012/Radi-um von Roentgenwerke AG/東京)、「掌10」(2011/Radi-um von Roentgenwerke AG/東京)、「Plastic」(2007/The Slade School of Fine Art/London)など。現在東京にて活動。



春山憲太郎, untitled, 2005年, credit Kentaro Haruyama

交通 / How to get there



カマタ_ソーコ
KAMATA_SOKO

東京都大田区萩中3丁目22-7
3-22-7, Haginaka, Ohta-ku, Tokyo
京急大鳥居駅 徒歩5分
5min Walk from Keikyu Otorii Station